

働きやすい 病院評価事業 (ホスピレート)について

瀧野敏子

特定非営利活動法人女性医師のキャリア形成・
維持・向上をめざす会（イージェイネット）代表理事



<イージェイネット <http://www.ejnet.jp> 紹介>

2005年1月に内閣府に認証された、総会員数390（医師341名、賛助会員・法人49。06年11月24日現在）のNPO法人。理念は、「国民のいのちの守り手であるすべての医師がその使命をまっとうできる環境をつくるために実効性のある戦略をもって夢をかたちに変えていくこと」である。

<NPOの設立当初の問題意識>

育児のために第一線を退いてしまう女性医師の継続就労を支援する環境づくりをめざして具体的な戦略を構築し実行に移すことを目標としてかかげた。

<組織としての進化>

実際の活動を行っていくうちに、女性医師の「両立支援」の問題は男性医師もふくめた医師全体の働き方として考える必要があるという認識に至った。

<働きやすい病院評価事業>

当会では06年度より、「働きやすい病院評価事業（<http://www.hospirate.jp>）」を開始した。

○社会背景と若年世代の勤労観の変化

わが国では少子高齢化が将来の国家維持の上での大きなリスクとなっており、労働力確保の意味からも女性の活用が喫緊の課題となっている。若年女性医師の価値観の変化も明らかで、当会のアンケートでも彼女たちの職業継続上の最優先事項は「いかにして仕事も家庭も円満に充実させて果実を得るか」ということである。

「ワーク・ライフ・バランス」を重んじるのは若い男女医師に共通で、05年度の全国の男女研修医対象のアンケートでも「医師不足の地域で働いてもよいが『給与』と『休暇』を保証してほしい」という結果が出ている。

・本事業の意義

ホスピレートは、病院に働く医師ら男女全ての職員の「仕事と生活の両立支援」をはかり、働きやすい就労環境の実現に向けてインフラ整備の一助となることを意図している。

・概要

女性医師（を含む病院職員全体）が安心して働けるかという観点から、イージェイネットが第三者評価を行い、認証された病院に対し

て認定書を付与する。

・評価の流れ

資料請求→評価申し込み・申し込み受け付け→受審説明会→書面審査→現地訪問→評価委員会→評価・認証決定。

・評価委員会

現在12名で、医科大学教授、医療経済学者、企業経営者、医療系ジャーナリスト、医療専門弁護士、監査法人、事業評価会社、社会保険労務士、女性医師らからなる。

・認証のベネフィット

①病院にとっては優秀な人材確保②女性医師にとっては長く働ける病院選びの基準③患者にとっては優秀な人材を擁する病院の選択基準。

・認証後の特典

①ホスピレートのホームページに病院のPRを掲載②イージェイネットがテレビ・新聞・雑誌等に「働きやすい病院」として推挙③代表理事が医学部学園祭・研修医対象の講演で「働きやすい病院」として推薦。人材紹介も予定している。

・評価項目概要

①全体の方針・体制②育児・介護全般③育児保育④介護支援⑤復職支援⑥キャリア形成支援⑦啓蒙・PRなど。

・評価のポイント

病院長が経営上の必要性を認識し取り組みに対する強い意思を有しているかどうかの評価のポイントになる。

・実績

06年6月より事業を開始し10月31日現在、3病院（大阪厚生年金病院、聖隷三方原病院、北野病院）が認証され、6病院が書類審査中である。どの病院も、働きやすい環境整備をすることで次世代を担う優秀な女性医師の定着に期待していることが、院長ヒアリングによって明らかになっている。実際、受審を契機に各病院のホームページが一新され女性医師からのアプローチも増加している。

・大学病院の独法化とホスピレート

独法化後の国立大学付属病院では労基法によって労務管理がなされるため、労基署は労働時間改善指導や超過勤務手当て支払い命令などの監督を強化しつつある。大学病院においてもホスピレートをインフラ改善の端緒とすべく活用していただきたい。